

# 地域づくり協議会だより

## ◎ 原稿募集中

広報部会

発行日：令和元年 9月1日 発行者：大和町連区地域づくり協議会  
一宮市末広三丁目6番1号(大和町出張所内) 電話：28-9006

### 大和町連区敬老会案内

対象者：75歳以上の高齢者  
日時：9月15日(日) 午後1時～3時  
場所：大和中学校 屋内運動場  
内容：①式典 ②アトラクション(予定)



- ・ブラスバンド演奏(大和中学校)
- ・よさこい鳴子踊り(名古屋学生チーム"鯨")
- ・大正琴演奏(大和ハーブクラブ)
- ③お楽しみ抽選会

### 大和町連区運動会案内

日時：10月13日(日) 午前8時30分～  
(☔の予備日：10月20日)

場所：大和中学校 運動場

演技種目：町内対抗団体種目

自由種目(就学前,児童,大人,高齢者)



### スポーツ大会『ドッチビー大会』 はじける歓声・あふれる笑顔！

児童育成会長 内田 清

大和町連区児童育成協議会は、スポーツ大会(ドッチビー)を6月23日(日)大和西小と大和南小、30日(日)大和東小で開きました。今年は、大和東小校下20チーム、大和西小校下14チーム、大和南小校下14チーム、600名余の選手が参加しました。ドッチビーは低学年から高学年までの男女が一つになってチームを作り、対戦相手とディスクを投げ合い優勝をめざします。子ども達の大会に臨む意欲や競技レベルは年々向上しています。各会場とも親御さんの熱い声援に子ども達の士気も上がり、はじける歓声と笑顔があふれ熱気に満ちていました。

〈優勝子供会〉  
大和東小校下：花池グリーン  
大和西小校下：菊1ピンク  
大和南小校下：チーム豊島A



### ホタルの観賞会

主催&協力:家庭学習部 一宮平成ホタルの会  
日時&場所：6月15日(土)pm7:00～大和公民館



ホタルの環境を含め多様な生物の生息できる自然の再生を働きかけて20年余り、ホタルの不思議さや飼育の大切さを学ぶ場が持たれました。当日は、ホタルの一生を聞き、成虫を観察して、暗室で光を放つ光景を実体験しました。誰もが「美しかった」と感嘆の声を上げていました。



### 第19回大和老連グラウンドゴルフ大会

日時&場所：6月11日(火)am9:00～堀田公園

大和町連区老人クラブ連合会(大和老連)の定例行事のひとつ、健康増進・会員交流等を目的に多くの参加を得て盛大に開催されました。老連は、現在46クラブ会員数約2,500名、日常の健康管理やスポーツ、事故防止等の健康活動、一人暮らしの高齢者を支える友愛活動、ボランティアなどの社会奉仕活動、趣味・サークル活動や学習活動を展開しています。



### ふれあいサロン大和東

期日 & 場所：月第3(水)大和東団地集会場

訪問 & 内容：1月 太極拳と茶話会  
おしゃべりつながるにこやかサロン



### 上次ふれあいいきいきサロン

期日 & 場所：月第3(金)上次公民館

訪問 & 内容：1月 鏡開き(脳トレ・竹細工)  
笑顔・会話転がるサロン



### 氏永ふれあいサロン

期日 & 場所：月第2(金)専福寺

訪問 & 内容：2月 生け花  
華やか香るさわやかサロン



## 特集⑤ ふれあいサロン

### 戸塚ふれあいサロン

期日 & 場所：月第1(火)圓受寺

訪問 & 内容：2月 折り紙  
集中100%達成150%なかよしサロン



### 研修視察

民生児童委員 酒井 秀作

6月10日(月) 大和町連区民生委員児童委員協議会の研修視察で、高山市社会福祉協議会を訪れ「コミュニティ創生支援モデル事業：『のくとい(方言：あたたかい)館』(高山市高根町)」について報告を受ける機会を得ました。 国史跡「高山本陣」のある中心市街地から車で2時間余り、標高800m



冬季の様子

～1,600m、人口320人、世帯数175世帯、高齢化率56.9%(H31,4,1現在)と過疎高齢化の著しい地域が高根町です。 冬は、マイナス20度、積雪年平均1mと外出も困難なところ。一人暮らしの高齢者は隣の集落とは5～6km離れ安否確認もままならない。 病院送迎や買い物代行等外出支援サービスを社協が実施しています。この地に旧教職員住宅を活用した冬季4ヵ月限定高齢者住宅『のくとい館』が開設されて12年、年平均12名余りの方が冬季共同生活を行い、春に自宅に戻ります。社協が主体となり住民のニーズに対応して行政や住民、民生児童委員などのボランティアと連携して立ち上げた事業です。今は、地元の有志高齢者と「寒干し大根」(飛騨の保存食)の作業をしたり、自前の漬物・山菜が各入居者の食卓に上ったりと絆を深めています。また、地元の方や学生らの見守りや雪下ろし、入居者の一時帰宅等、安全安心な温かい地域へ、全国から注目を浴びている事業です。 民生児童委員として、誰もが孤立せず、地域のなかで笑顔で生活を送ることができるように訪問活動を重ね、幅広い人々と協力して気になる人を早期に把握することの大切さを学びました。



## で行くぶらり散歩⑪

☆ 散策場所 荻安賀 国登録有形文化財 『森川家住宅』

名鉄尾西線 観音寺駅下車 西500m 徒歩6分



土蔵



主屋



道標

森川家住宅は、東西に延びる巡見街道(旧国道155号)で南東に向きを変える位置の南側に存在する。当家は、荻安賀村の有力地主で江戸後期には酒造業を営んでいた家柄である。主屋：1855年(安政2年)、書院：1902年(明治35年)、土蔵：昭和初期に建てられた。住宅は江戸後期に建てられた町屋建築の遺構として貴重な存在として2008年(平成20年)、国登録有形文化財に指定される。

巡見街道とは、江戸時代に幕府が諸国の大名の監視と情勢調査のために派遣した巡見使が通った街道で、尾張近辺は、犬山から草井、瀬部、四ツ谷、荻安賀、萩原を経て津島に至る街道をさす。江戸初期の文書では、荻安賀村の家数は348戸、人口1,541人に対し寺院数14で、1561年浅井高政(新八郎)により築城された荻安賀城を背景に、尾張地方に栄えた代表的集落であった。道標には、「右名古屋 左一宮」とあり、右方向には往時を思わせる街道が続く。森川家住宅をはじめこの街道沿いには、専養寺・誓願寺・鎮西寺・観音寺など多くの寺院がある。

(参照：文化財ナビ愛知)